

富士見町の観光戦略とパノラマ強化方針



富士見町

目次

パノラマの経緯と現在の問題

1、パノラマ事業総括	4
2、最後で最善かつ実行可能な解決策	8
3、パノラマ強化の為の投資計画	20
4、借金の返済状況	22
5、富士見町の発展は	24
6、観光業	24
7、発展の為の基本方針	25
8、パノラマへのご意見に対する見解	28
① 過去2回と今回の違い	
② 今回の計画の信頼度	
③ パノラマの「スキー場としての将来」は	
④ 金融機関からの協力	
⑤ 債権放棄要請について	
⑥ 法的再建方法	
⑦ JALのように法的整理をしたらどうか	
⑧ 即民営化したらどうか	
9、今後の進め方(スケジュール)	34

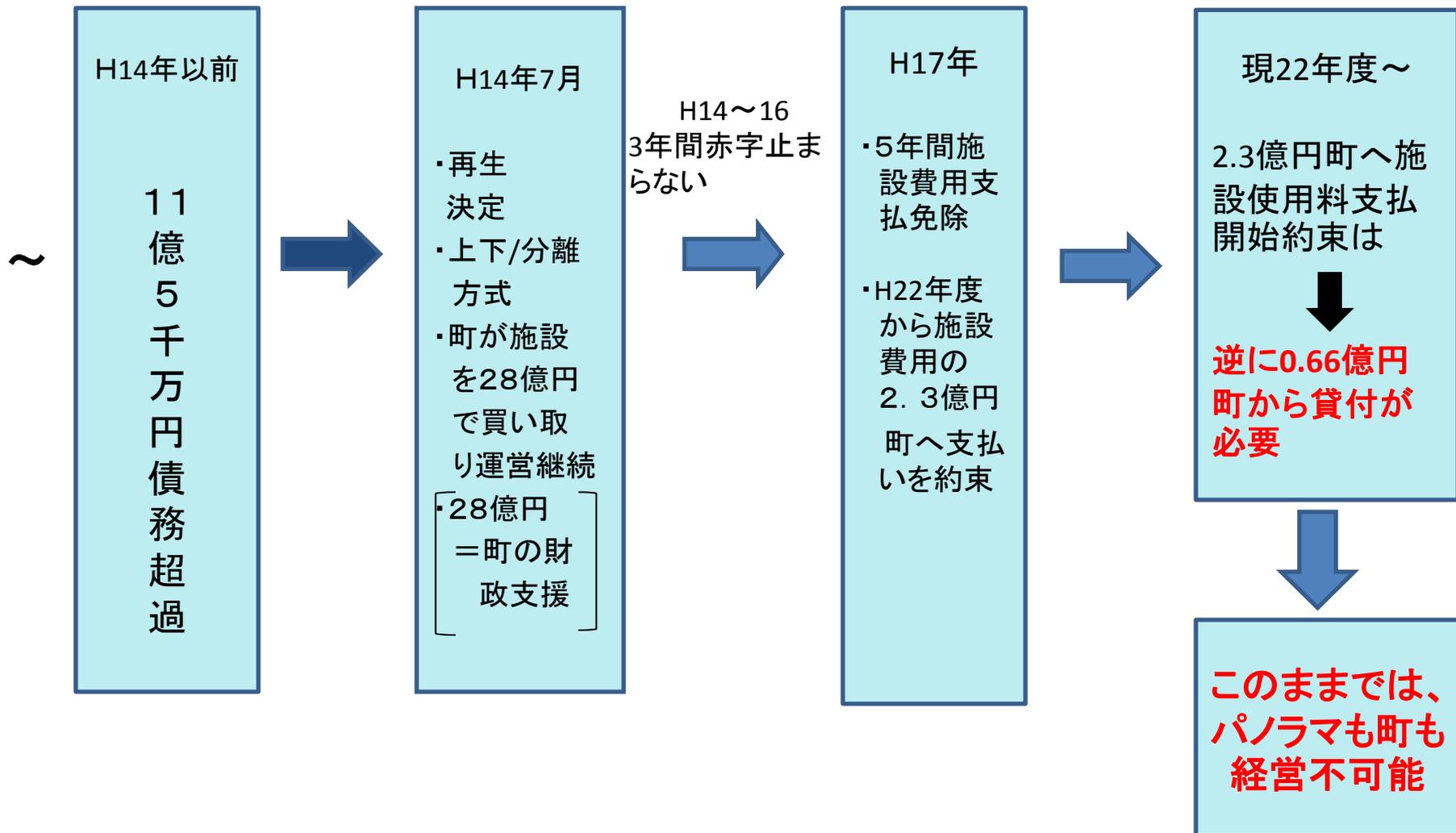
パノラマの経緯と現在の問題

大赤字で破産状態

第1回再建計画

第2回再建計画

現状H22年度～

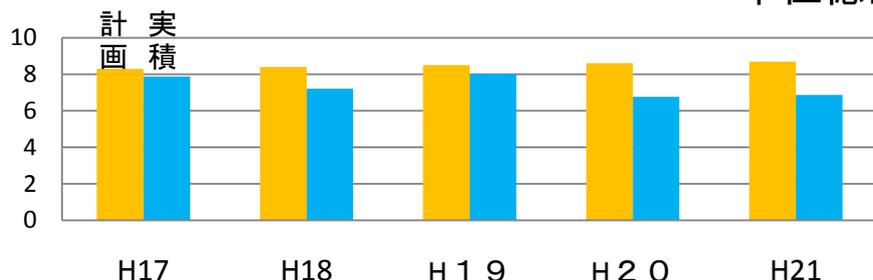


1、パノラマ事業総括 H18年住民懇談会公約との

大きな乖離を深くお詫びいたします

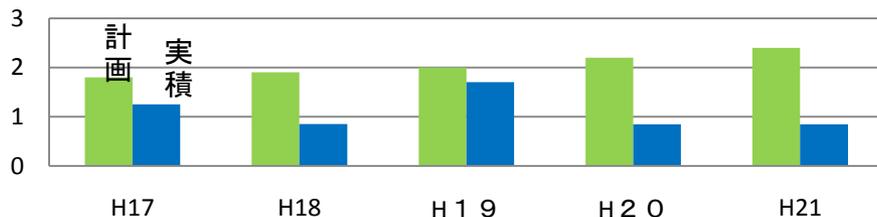
売上げ計画と実績

単位億円



売上げ未達成

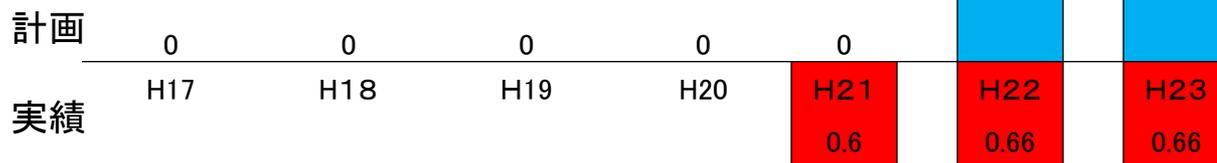
利益計画と実績



非現実的な利益計画により未達成

5年間0.84億円以上で健闘し黒字継続

賃料支払い計画



短期借り入れ

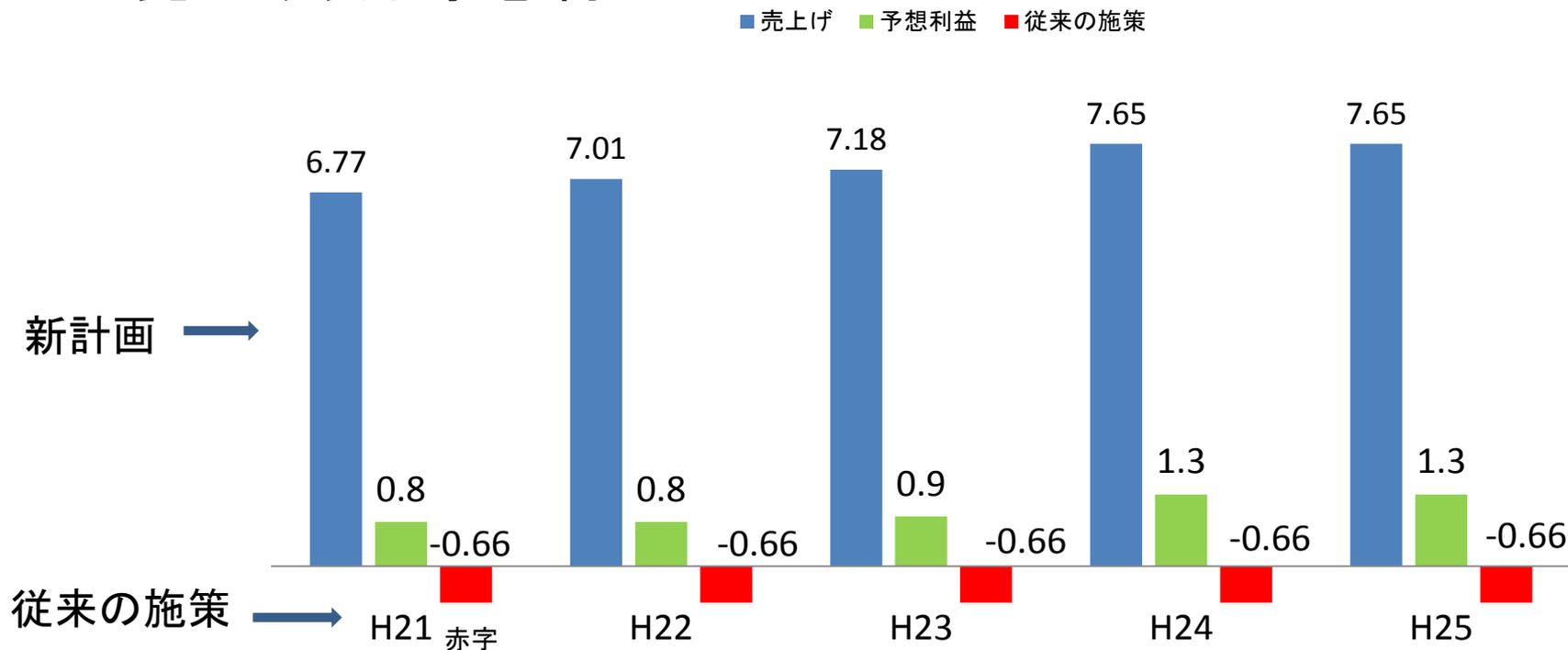
不足分発生

町から新たな貸付が必要

収支赤字
返済予定2.3億が
逆に0.66貸付が
必要

(1)新方式による事業計数

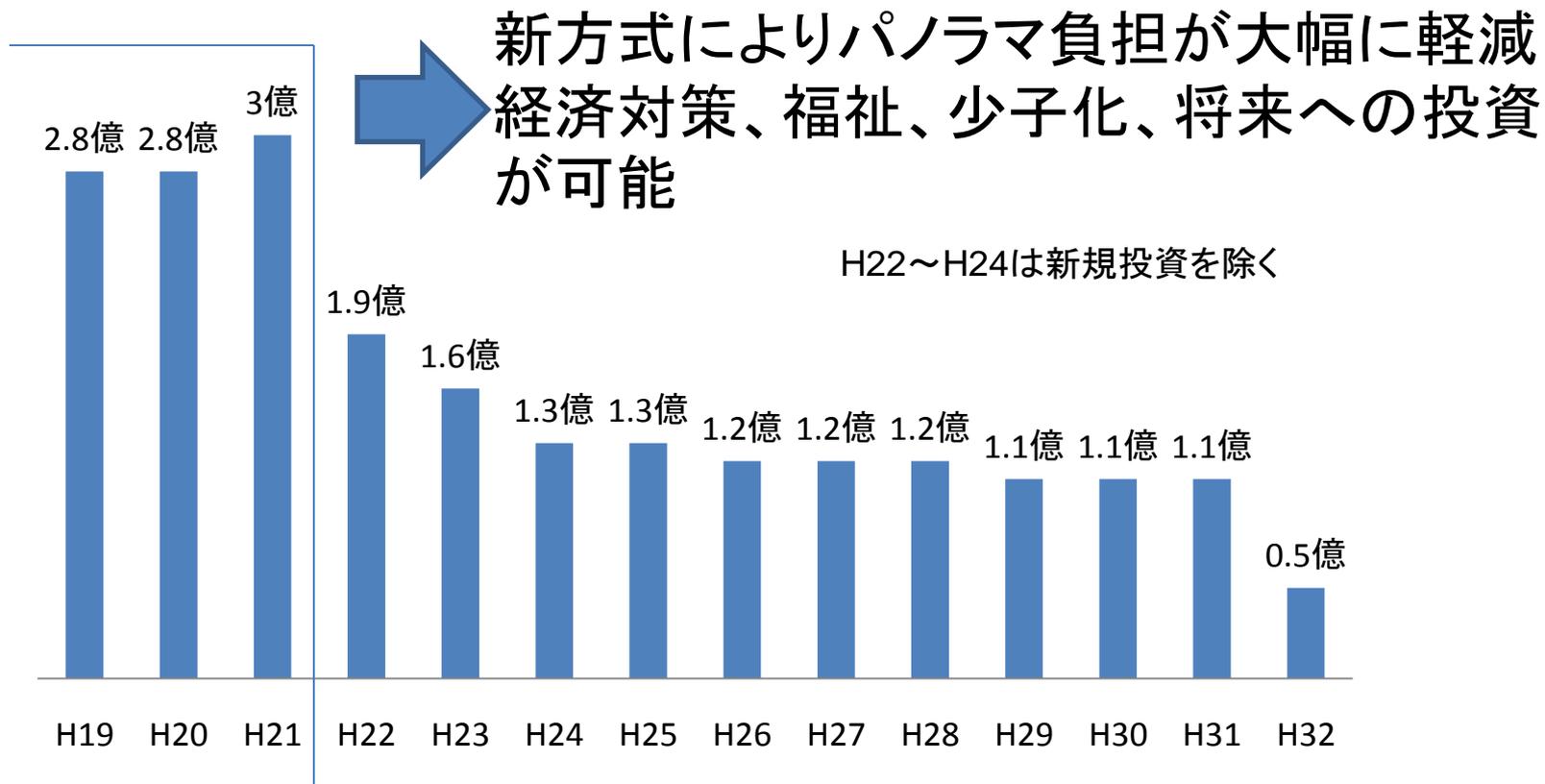
売上げ及び予想利益



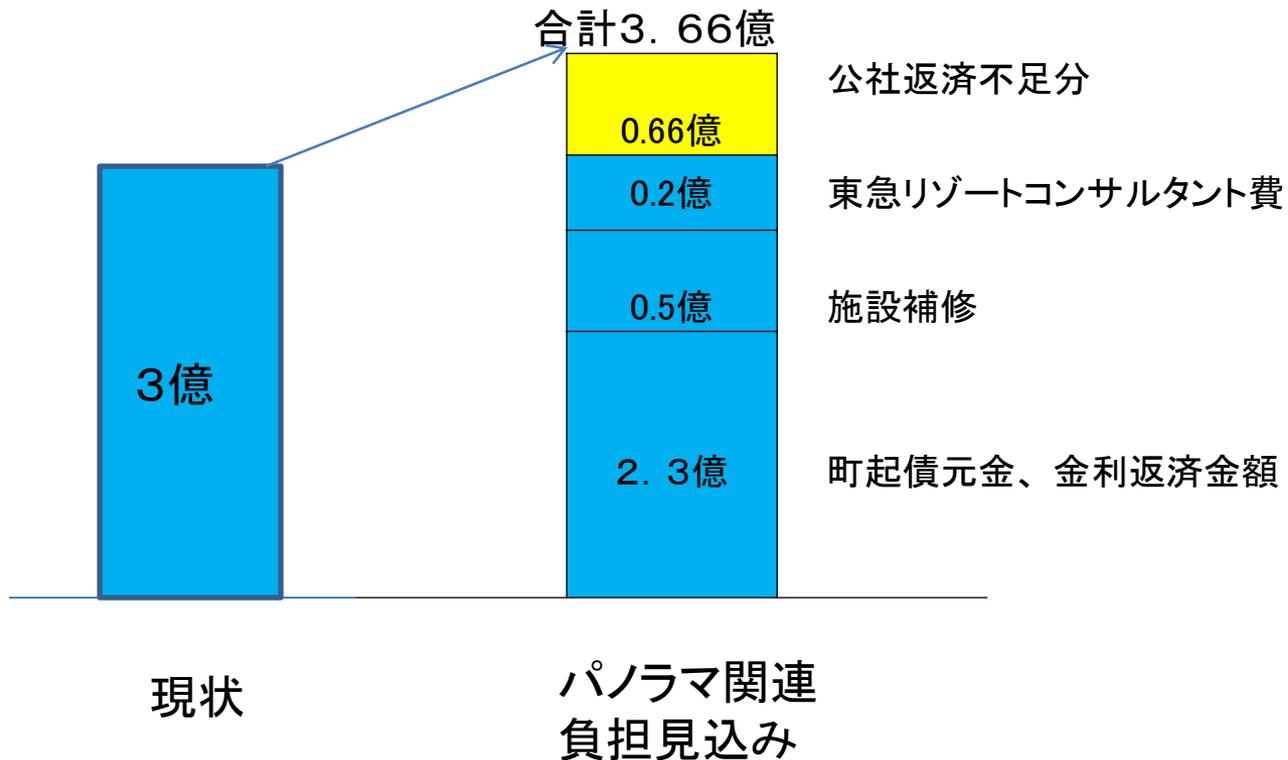
H22年度 町からの貸付を逆に公社から施設賃料返還が始まる

(2) パノラマの為の一般会計負担

従来は町の財政規模65億のうち約3億はパノラマに費やして
苦しい財政が続いてきた

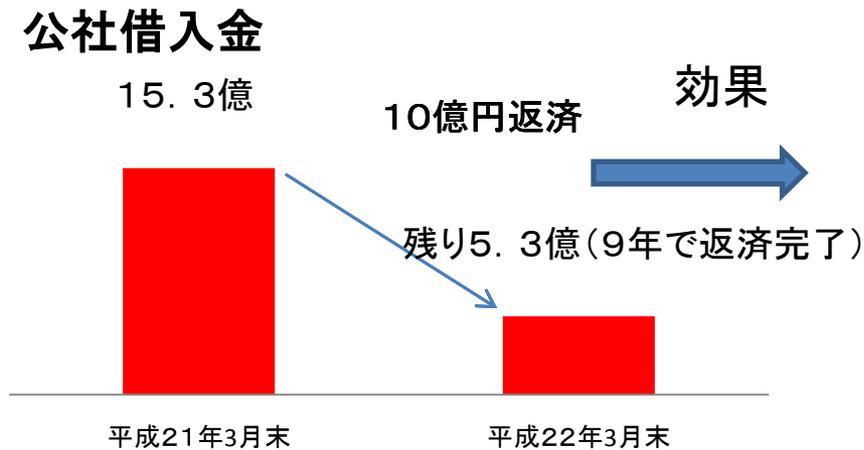


(3) 現状ではH22年度以降のパノラマ負担が膨れ上がり一層苦しくなります



2、最後で最善かつ実行可能な解決策

施策1、開発公社の借入金15億円(10年間での完済義務を遂行中) うち10億円の繰上げ返済



年間返済額0.9億円減
利子0.15億円減

1.05億円/年
負担軽減

1.55
億改善

+

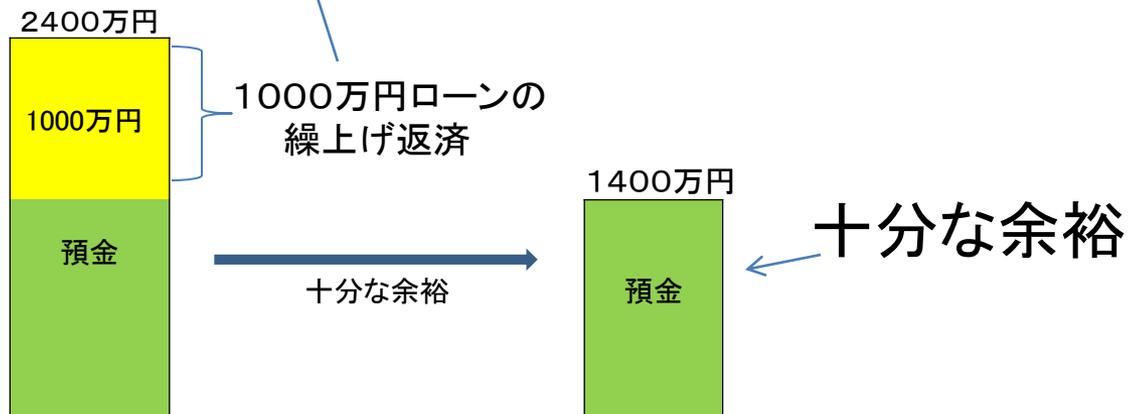
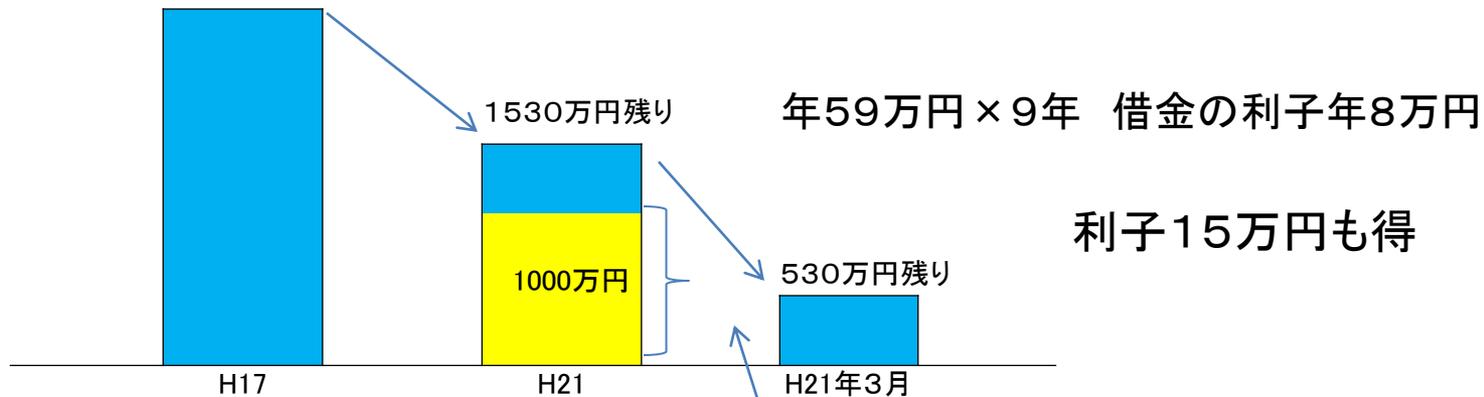
0.5億利益増

施策2、グリーンシーズンでの観光客
増(3万人目標)山野草公園プロジェクト

町民の植生有識者の英知を結集した
実行計画

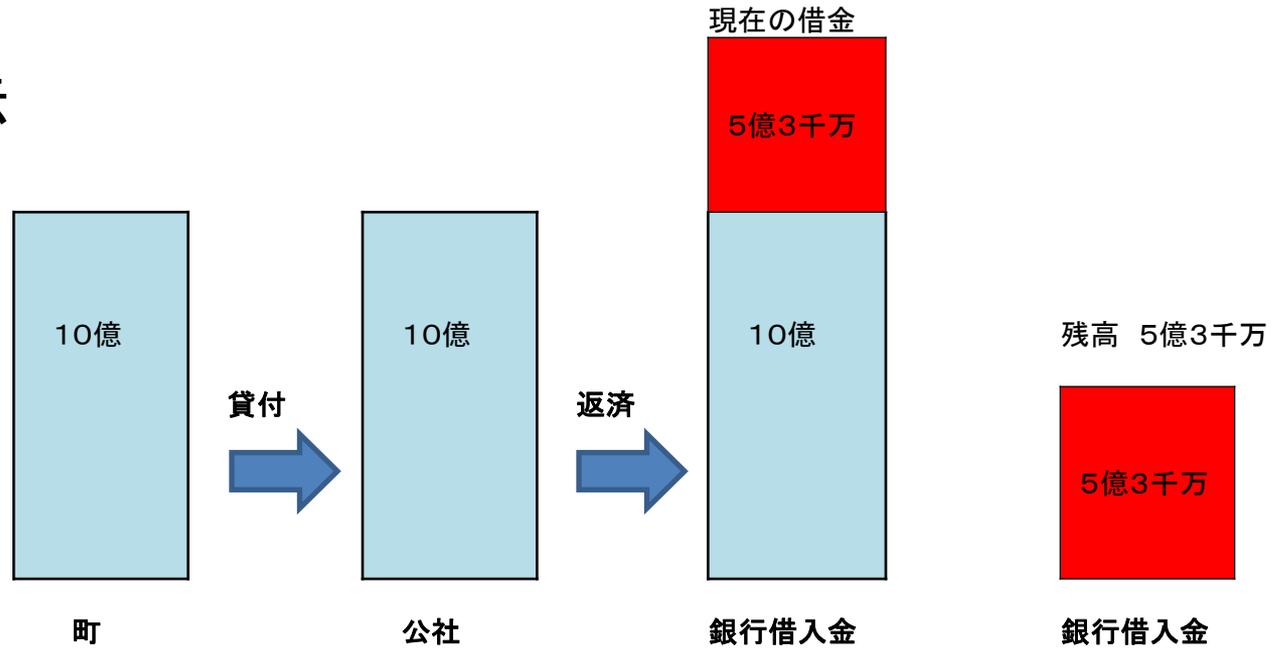
例. 施策1の借金繰上げ返済のイメージ 家のローン返済

2150万円のローン年153万円返済中(利子は別に23万円支払)



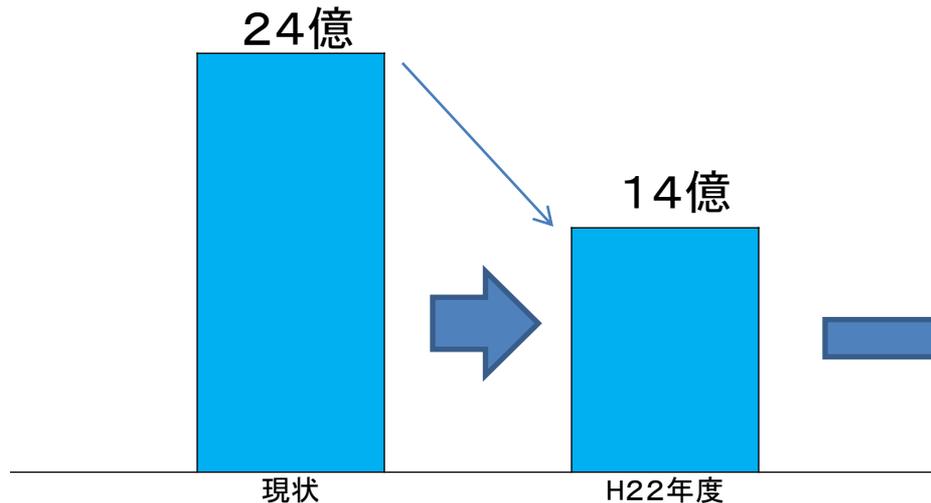
10億円繰り上げ返済について

返済方法



(9年間で 返済 年6千万)

基金残高



類似町村と比較しても
十分な余裕です

施策3、グリーンシーズン

施策1) 入笠エリア全体を自然山野草公園として整備します。

施策2) 自然保護、危険防止の観点でマイカー規制(観光客のみ)を通年実施。

施策3) ゴンドラから周遊シャトルバスを配備しマイカー規制の不便を解消します。

施策4) 頂上付近、湿原めぐり周回の一般サイクリングで誘客を目指しコース整備をします。バッテリー補助自転車の配備をします。

(1) 山野草公園改善プロジェクトは町民植生有識者により計画を策定しました。

- ・期 間 1月19日～2月中 計画策定
- ・体 制 リーダー 産業課長 久保川 敏朗
平出 暢 加々見一郎 牛山晴吉 吉岡碩子
伊藤高明 中山 洋 細川 浩 名取智恵
有賀 一彦 小間井恭二 富士見パノラマ職員
産業課 新しいまちづくり係
- ・入笠地区(パノラマ+湿原+入笠)の全体像改善シナリオ
- ・月別のアピール植物シナリオ
- ・実行体制 担当
- ・スケジュール 3年計画で完成
- ・費 用 総額6,200万円程

展開・構想

- (1) 入笠に生息している“すずらん”を足がかりにして、四季の「花と山と眺望」を通じて多くのお客様にお越しいただく。
 - ・入笠湿原と御所平お花畑に自生する“日本すずらん”の生育と保全。
 - ・パノラマ山頂コナシゲレンデに新たに園芸鑑賞ができる一般的に見栄えする“ドイツすずらん”のエリアを開園。
- (2) 入笠及び富士見パノラマリゾート周辺で“すずらん”をテーマに展開できる環境を整える。
 - ・パノラマへのアクセス道路沿などに“すずらん”を植栽。
 - ・“すずらんの苗”などをプレゼントしての誘客。
 - ・“すずらん”を形にしたキャラクター商品などの開発と商品化。



《4つのプラン》

1. 入笠すずらん公園(恋人の聖地)
 - ・ドイツすずらん園芸鑑賞エリア
 - ・花木山野草鑑賞エリア
 - ・展望デッキの設置
2. 鐘打平湿地及び周辺湿地
 - ・ザゼンソウ、サワギキョウ鑑賞エリア
3. 入笠湿原(すずらん自生地)
 - ・散策階段の改修
 - ・根切りを通じて生育と保全
4. 御所平お花畑
 - ・早春の野焼きを通じて生育と保全

パノラマ山頂コナシゲレンデ

入笠に自生する“日本すずらん”とのすみ分け(木柵等で四辺を囲む)を行うなかで、新たなすずらん群生地として“ドイツすずらん”を初年度約4万株を植栽し、2・3年目も植栽を重ね、ゲレンデー面を“ドイツすずらん”が鑑賞できるエリアとする。



ドイツすずらん観賞エリアのイメージ



パノラマ山頂間伐エリア

◆ 花木・山野草鑑賞エリア

5月のカタクリから始まり9月のマツムシソウまで、原色が見栄えする山野草を10種類(カタクリ・サクラソウ・カラナデシコ・シモツケ・ヤマユリ・レンゲショウマ・ヤナギラン・コオニユリ・オミナエシ・マツムシソウ)ほか数千～数万株を植栽し、2・3年補植を重ねインパクトのあるエリアを造る。また開花時期をずらし入笠で自生しているその他の山野草を所々に植栽して、雰囲気を作る。

園内の紅葉と木陰を形成するエリアとして、「山桜・山紅葉・ナナカマド」を植樹し、花が終わっても楽しめるエリアを造る。

入笠は蝶(チョウ)が豊富に舞う場所として愛好者に人気のため、蝶が好む山野草も植栽していく。

◆ アカノラ山鑑賞エリア

アカノラ山頂への散策路沿いに「ミツバツツジ・レンゲツツジ・シャクナゲ」などの低木類を植樹し、相乗的なエリアを形成する。

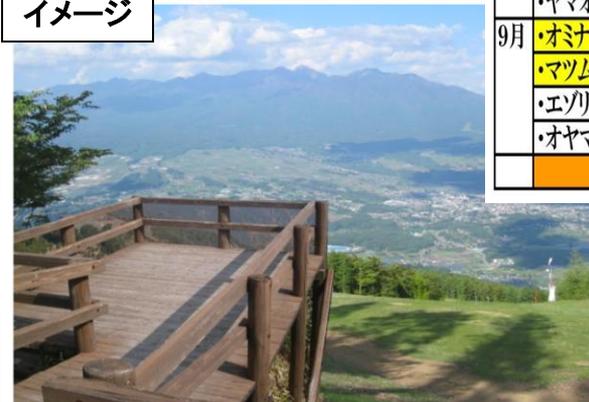
◆ 眺望エリア

パノラマ山頂からの眺望は、八ヶ岳連峰を始め富士山・諏訪湖・北アルプスなど富士見町を眼下に観るポイントとしては、絶好な場所のため「山野草鑑賞エリア」の下方に展望デッキを設けて、眺望ポイントを紹介し話題づくりを行う。話題づくりの過程は、「NPO法人地域活性化支援センター」の恋人の聖地として認定が決まり、全国で100箇所余のひとつとして紹介できる。

平成22年度構想エリア植栽種(案)

時期	花名	生活型	生育地	本数	時期	花名	生活型	生育地	本数	
5月	・ザゼンソウ	多年草	湿地	500	7月	・キキョウ	多年草	山地草原	100	
	・ヤマシャクヤク	多年草	明林下	350		・シロアザミ	多年草	山地草原	100	
	・シロバナエンレイソウ	多年草	山野湿	100		・ヤマホタルブクロ	多年草	山野林縁	100	
	・ツバメオモト	多年草	山地林下	100		・カラナデシコ	多年草	山野草地	2,000	
	・ユキザサ	多年草	山地林	100		・クガイソウ	多年草	山野草地	100	
	・イカリソウ	多年草	深落葉樹林	100		・ササバギンラン	多年草	山野湿	100	
	・ショウジョウバカマ	多年草	山野湿	100		・シモツケ	多年草	山地林	2,000	
	・カタクリ	多年草	山地林	5,000		・ユウスゲ	多年草	山地草原	100	
	・アデリンドウ	2年草	山野湿	100		・ノハナショウブ	多年草	山野湿	100	
	・サクラソウ	多年草	山野湿	5,000		・ヤマユリ	多年草	山地草原	500	
	6月	・ヤグルマソウ	多年草	深山湿		100	・ニッコウキスゲ	多年草	山地草原	500
		・サンリソウ	多年草	山野湿		100	・ハクサンアウロ	多年草	山野草地	100
		・ニリンソウ	多年草	山野湿		100	8月	・サワギキョウ	多年草	湿地
・ゲンナイアウロ		多年草	山野草地	100	・サラシナショウマ	多年草		山野林	100	
・ヒトリシズカ		多年草	山地林	100	・レンゲショウマ	多年草		深落葉樹林	500	
・フタシズカ		多年草	山地林	100	・ウメバチソウ	多年草		山野湿	100	
・スズラン(ドイツ)		多年草	山地草原	40,000	・クサボタン	多年草		山地草原	100	
・アマドコロ		多年草	山地草原	100	・センジュガンピ	多年草		山地林縁	100	
・フタバアオイ		多年草	山地林	200	・ソバナ	多年草		山地林縁	100	
・ウスバサイシン		多年草	山地林	200	・ツリガネニンジン	多年草		山野草地	100	
				・ヤナギラン	多年草	山野荒		2,000		
				・コオニユリ	多年草	山地草原		1,000		
9月					・フシグロセンノウ	多年草	山地林	100		
					・テガタチドリ	多年草	山地林	100		
					・ヤマオダマキ	多年草	山地林縁	100		
					・オミナエシ	多年草	山野草地	2,000		
					・マツムシソウ	2年草	山野草地	2,000		
				・エゾリンドウ	多年草	山地草原	100			
				・オヤマリンドウ	多年草	山地草原	100			
							合計	68,950		

イメージ



パノラマ山頂間伐エリア

低木類



山野草類



広葉樹類



鐘打平湿地・丸金林道沿い

湿地帯に生育する「ザゼンソウやサワギキョウ」などを植栽して、新たな集客できるエリアを造る。



入笠湿原・すずらん自生地

すずらんの生育が弱まっているため、根切りを通じて新たな植生を図る。また現在の階段通路は、ストレートのため大雨のとき散策路が掘れてしまい、段差が生じているなど利用者に不便のため、流水方向を考えながら「ジグザグな階段」とする。



イメージ

御所平お花畑・野焼き

御所平のお花畑は、花の宝庫として親しまれてきたが、自然環境や食害などにより年々花の数が少なくなり衰えてきている。

春先のまだ草木の新芽が出ない時期に“野焼き”を行うことで、新たに出る若草のための肥料効果や害虫を焼き殺す効果もあると考えられている。

入笠の早春行事として、地域の方々の協力を頂き、春をつける行事として定着を図る。



イメージ

“すずらん”を形にした展開

【イベント】

- ・すずらんの町富士見を徹底PR。すずらん祭りの開催。
- ・町商工会の支援を得ながらのイベント開催。
- ・入笠湿原など…富士見町観光PRブースを設置。
- ・富士見パノラマゴンドラ利用のお客様へすずらん苗などのプレゼント他。

【徹底した「すずらん」の露出】

- ・ゴンドラ流星 → “ゴンドラすずらん”に改名。
- ・高速道路から見えるように → センターゲレンデにすずらん影絵を
開花時期に合わせ映写。
- ・町マスコットすずらんの着ぐるみ作製 → イベント時には必ず同行し露出。



【主要な広告展開と情報発信】

ラジオ…FM/AM
新聞…首都圏及び山梨・近隣
雑誌…山野草専門誌/アウトドア雑誌

交通広告…JR/高速道路他
Web…ヤフー
HP…県及び町観光情報サイト

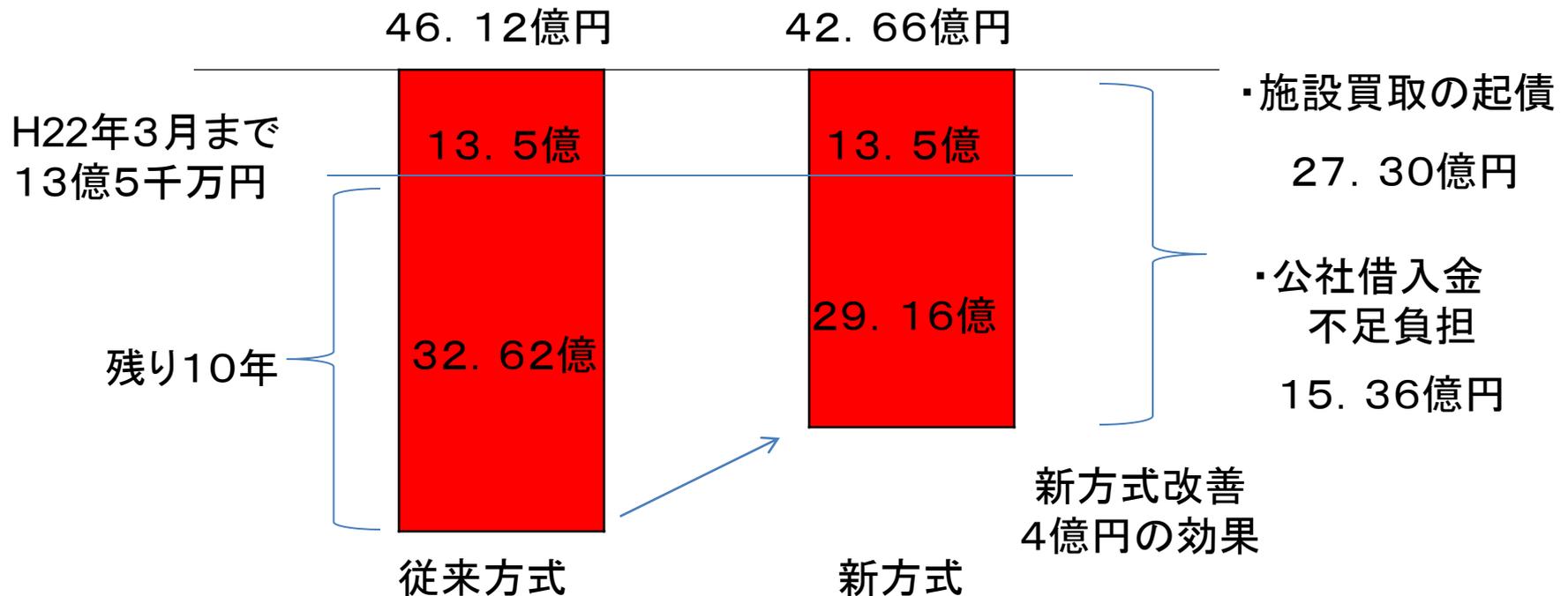
植栽事業は1年～2年の短期間で結果は出ない。3年目以降の山野草公園としての完成を目指し、計画をする。今年に関しては“種まき”の年とし、再度徹底した現在ある資源をPRする。

3、 パノラマ強化の為の投資計画

(1) 強化投資計画

	H22年度	H23年度	H24年度	投資合計
ゴンドラ山頂公園関係	5,400万円	2,000万円	2,000万円	9,400万円
自転車サイクリング	300万円	0	0	300万円
マイカー規制の為のシャトルバス 看板など	1,900万円	0	0	1,900万円
ゲレンデ改修	4,400万円	0	0	4,400万円
年度投資合計	1億2,000万円	2,000万円	2,000万円	1億6,000万円
増収予想金額	2,285万円	3,955万円	8,670万円	
観光客	8,800人	15,900人	32,500人	

(2) H17年からH32年まで町財政負担



42.66億円についてはH17年度よりH32年度。
これまでに毎年一般会計2~3億で処理されています。
現状の町の運営、町民皆様の生活に一切影響はありません

4、借金の返済状況

51億円



H16年3月

33億円



H22年3月末

あと10年で
ゼロ

0

H32年3月末

パノラマへの負担
はゼロとなります

公社1.5億

町1.8億

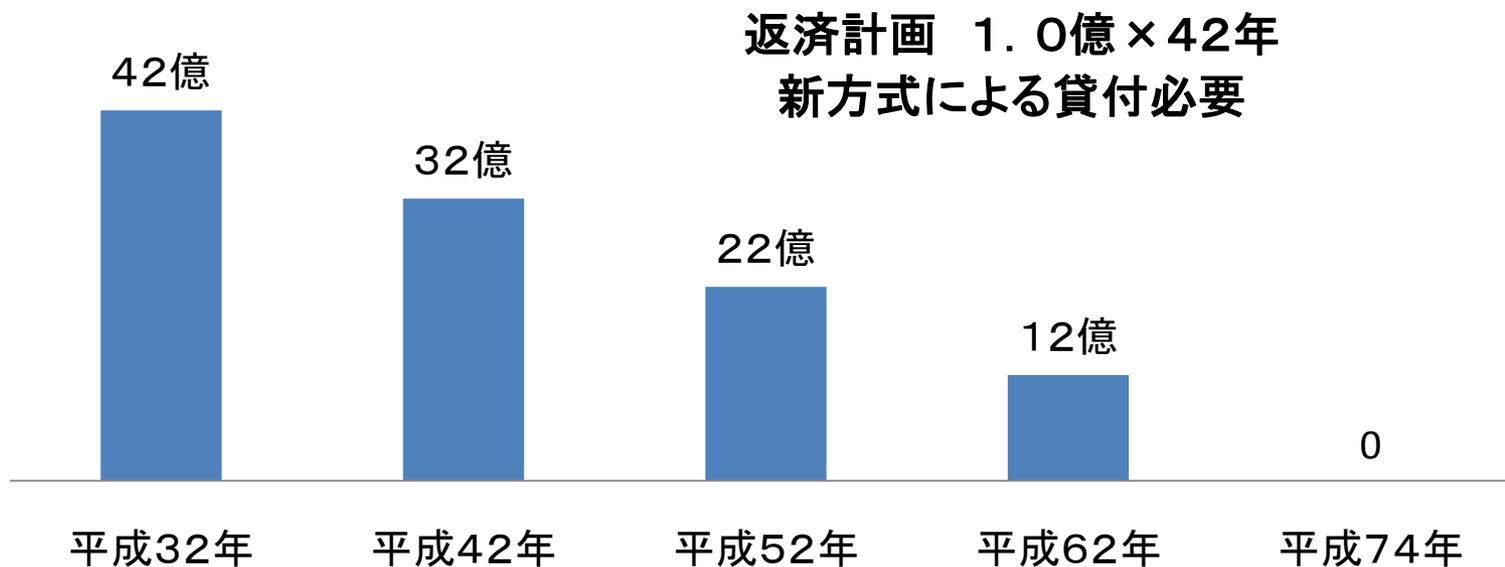
計3.3億/年返済中

(2) パノ라마への町負担の処理

・負担総額42億

賃料として町に返済(平成32年以降は1.0億円)

・処理は



5、富士見町の発展は

①農業 ②観光 ③地場産業
の発展に掛かっています

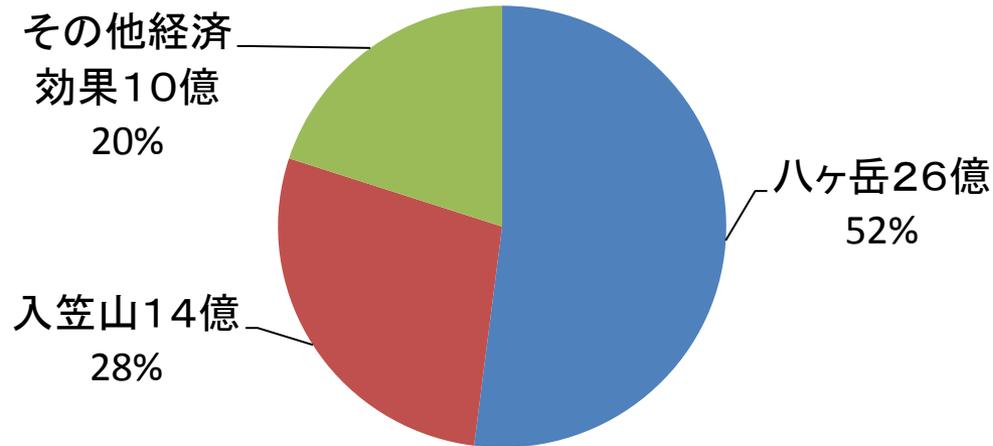
6、観光業

年間130万人

経済効果 50億円

自然環境の素晴らしさ
文化歴史
リゾート施設

50億円の内訳



7、発展の為の基本方針

①八ヶ岳、入笠山の発展に有効な投資を行い
より発展させる

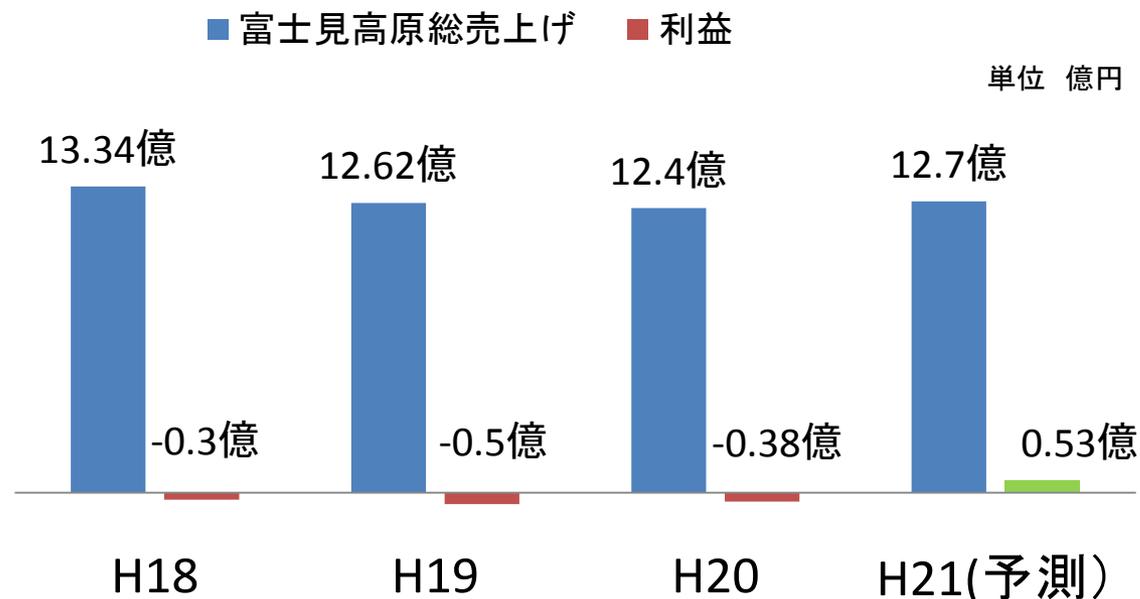
3年で10%の観光客増を目指す

②具体的施策(案)

・八ヶ岳

- 1) 伊東近代美術館跡地を観光案内や特産品販売、イベント広場など拠点にする
- 2) 創造の森を整備し、山野草公園化、ゆりとの相乗効果を創出
- 3) 鉢巻道路に歩道設置、ランニングや散歩コースに利用。ジュネスや運動施設への散歩コース(県に要望)
- 4) 不動清水、盃流、八ヶ岳登山道を整備し鼻戸屋との面的効果を創出

八ヶ岳



目標 13億/年

利益 0.5億/年以上を維持

観光客 80万人/年 $\xrightarrow{106\%}$ 85万人/年

投資(検討案) 3.5億/5年(H23年度~)

町負担分(案) 1.6億円

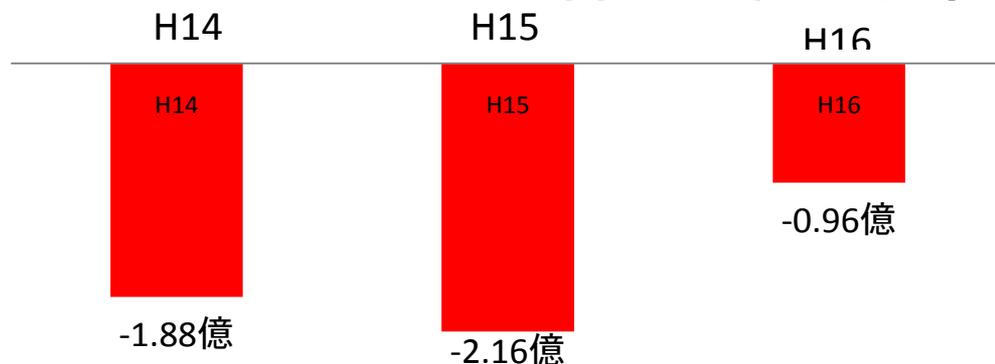
8、パノラマへのご意見に対する見解

① 過去2回も失敗しているのです、今度も信用できない。

(1) H14年7月の住民懇談会の再生計画

・年間3億円の赤字を止めるため、実質町の管理下で再生を計る。

“上下分離方式” 施設は全て町が買上げ、公社から施設使用料2.3億円支払いを受ける。



3年間大きな赤字

原因 ・経営の効率化不足

(2) H18年2月住民説明会の再生計画

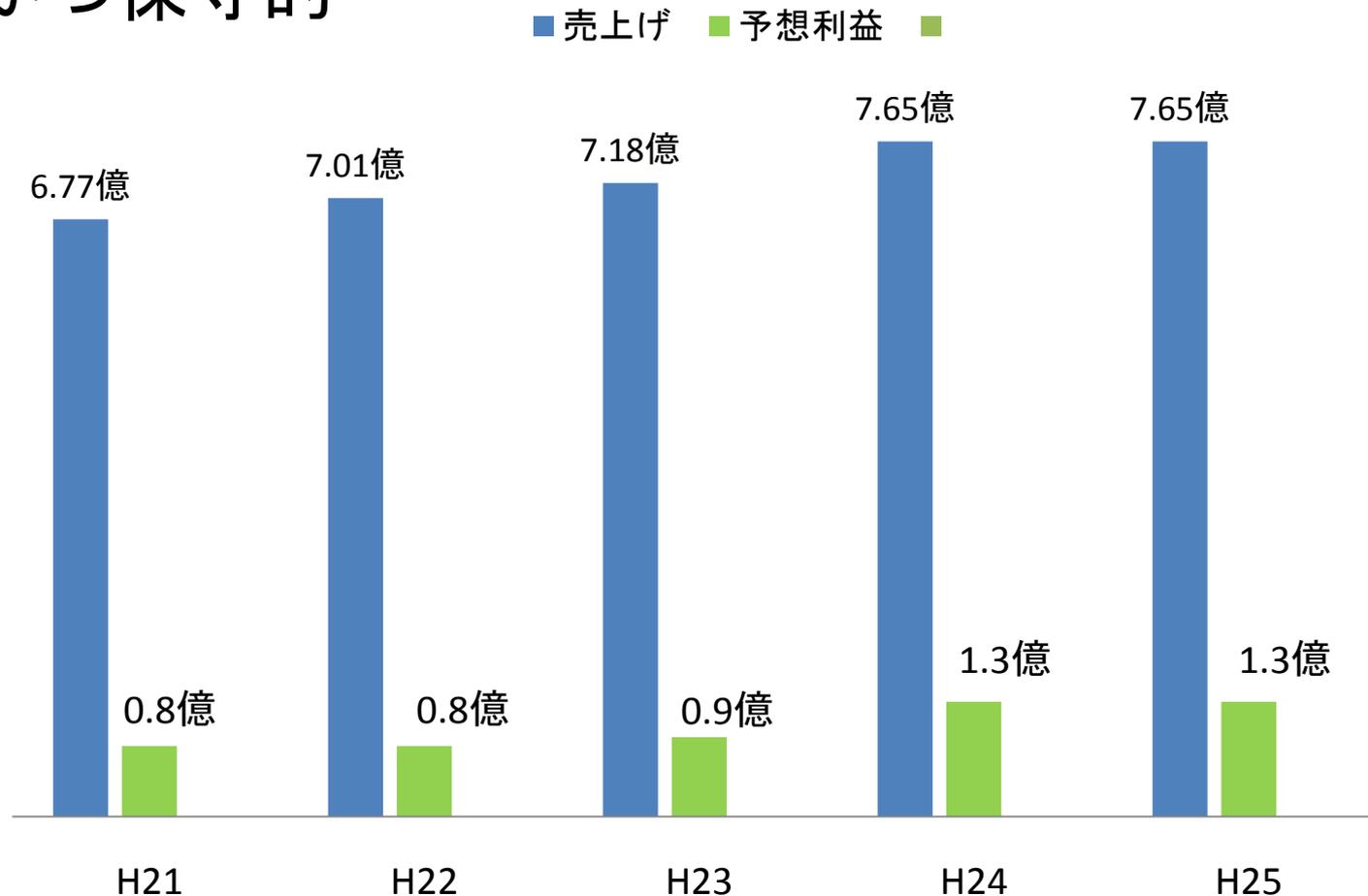
- ・町から公社への施設使用料2.3億/年を5年間免除
 - ・その間に公社が売上げ利益を増やせる努力をして平成22年度から2.3億円賃料を返し始める。
- 逆に0.66億円さらに貸付けが必要となった。

原因：利益超過大見通し

ただしパノ라마事業は経営陣と従業員の頑張りで黒字継続

② 今回の計画の信頼度

- ・利益計画は過去5年間の利益維持をベースで現実的かつ保守的



③ パノ라마の「スキー場としての将来」は

- ・ 今後は勝ち組か負け組みの2極化
- ・ パノ라마は、スキー場事業で勝ち組になれる潜在力あり

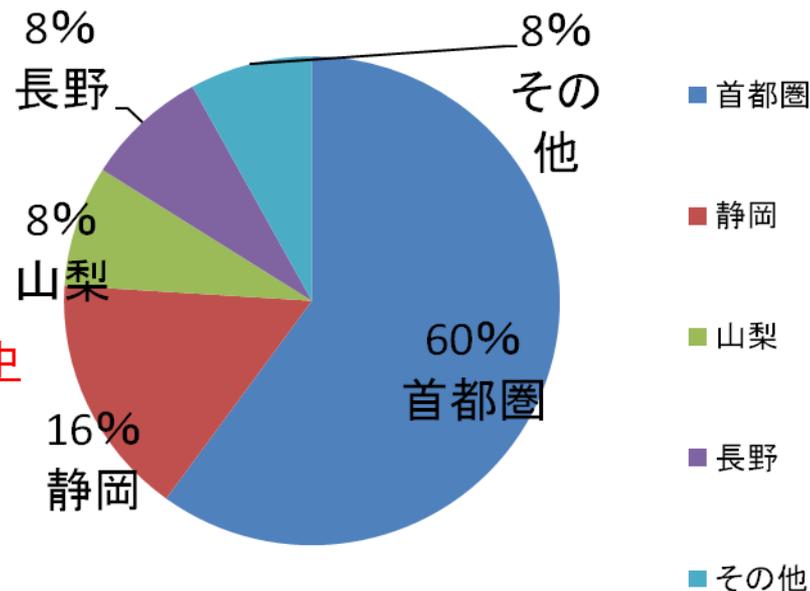
理由

○顧客の主要都市

- ・東京 1260万人
- ・神奈川 880万人
- ・埼玉 707万人
- ・静岡 380万人

人口増加中

何処から来ているのか



○アクセスの良さ

- ・東京 高井戸 2時間8分
- ・神奈川 厚木 2時間36分
- ・埼玉 鶴ヶ島 2時間18分

○気象条件

温暖化の懸念

- ・銀行の融資判断基準としては、標高1000m以上のスキー場は継続可能。パノラマの1050～1780mは合格基準。
- ・晴天率85%も豪雪地帯に比べ安定して運営できる。



良い立地条件

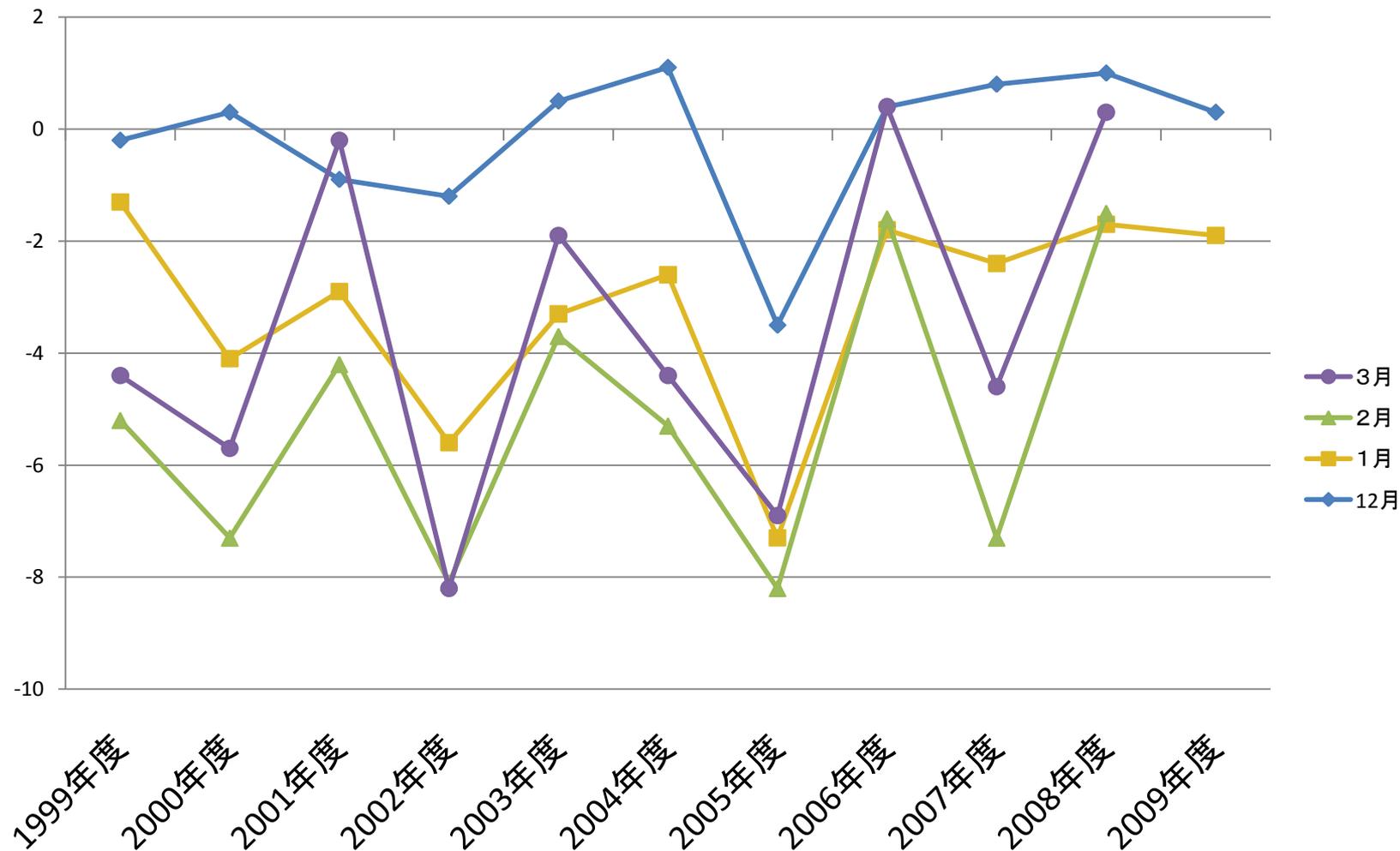
○コース条件

- ・ファミリー、初級・中・上級コース充実
- ・ゲレンデコンディション良好

○長野県トップ50のスキー場の中で年末年始 集客率(前年比)第4位(表参考)

過去10年のスキーシーズン月平均気温

気象庁観測地点：原村



年末年始における県下主要スキー場の利用状況がまとまりました。

平成21年度の年末年始における県下主要スキー場(50か所)の利用者数は89万5千人、対前年度比84%となりました。

今年度は景気低迷、天候不良、曜日の並びに恵まれなかったことから、多くのスキー場で前年度よりも利用者数が減少しました。

○ 調査期間：平成21年12月27日(日)～平成22年1月5日(火)10日間

○ 調査対象：県内の主要スキー場50か所

(単位：千人、%)

	市町村名	スキー場名	利用者数		対前年度比	備考
			20年度	21年度		
佐久	佐久市	佐久スキーガーデン「パラダ」	30	34	109.9	2位
	軽井沢町	軽井沢プリンスホテル	52	45	87.9	景気低迷による減少。
	立科町	しらかば2in1	34	32	91.9	
上小	上田市	菅平高原	52	40	77.5	景気低迷、曜日の並びに恵まれなかったことによる減少。
	東御市	湯の丸	35	28	79.6	景気低迷、天候不良による減少。
	長和町	エコーパレー	22	18	83.5	景気低迷、天候不良による減少。
諏訪	茅野市	車山高原	20	16	82.6	景気低迷、曜日の並びに恵まれなかったことによる減少。
		白樺湖ロイヤルヒル	14	17	119.7	降雪に恵まれたこと、昨年より開始した子供向けサービスの浸透による増加。 無料サービス
	富士見町	富士見パノラマ	16	16	98.8	4位
下	阿智村	ヘプンスそのはらSnowWorld	13	10	79.5	天候不良、曜日の並びに恵まれなかったことによる減少。
木曾	木曾町	開田高原マイア	13	9	69.7	降雪によるスキー客の分散化、天候不良、交通状況の悪化
	王滝村	おんたけ2240	11	9	80.7	景気低迷、天候不良による減少。
松	松本市	乗鞍高原温泉	26	18	68.5	天候不良、曜日の並びに恵まれなかったことによる減少。
北安曇	大町市	サンアルピナ鹿島槍	27	24	90.7	
		白馬五竜	70	52	75.2	景気低迷、天候不良による減少。
		白馬47ウィンタースポーツパーク	16	11	69.1	景気低迷、天候不良による減少。
		白馬八方尾根	77	59	75.8	景気低迷、天候不良による減少。
	小谷村	白馬岩岳	25	23	90.9	
		榑池高原	73	54	74.3	大雪のため交通状況が悪化したことによる減少。
長野	白馬村	白馬乗鞍温泉	16	13	84.0	大雪のため交通状況が悪化したことによる減少。
		戸隠	23	17	77.0	降雪によるスキー客の分散化、曜日の並びに恵まれなかったことによる減少。
	信濃町	タングラム・スキーサーカス	19	17	89.4	曜日の並びに恵まれなかったことによる減少。
飯綱町	いいづなりリゾート	13	11	83.1	天候不良による減少。	
北信	飯山市	戸狩温泉	21	24	113.3	1位降雪に恵まれたため増加。
		斑尾高原	43	43	100.5	3位
	山ノ内町	志賀高原(19スキー場)	184	151	82.1	景気低迷、天候不良、曜日の並びに恵まれなかったことによる減少。
		北志賀高原(4スキー場)	38	33	86.9	景気低迷、天候不良、曜日の並びに恵まれなかったことによる減少。
		木島平村	北信州木島平	11	9	82.8
野沢温泉村	野沢温泉	71	60	84.3	曜日の並びに恵まれなかったことによる減少。	
合計			1,066	895	84.0	

※端数処理の都合上、数値が一致しない場合があります。



平成21年度 県下年末年始利用状況 ベスト10

(単位：千人、%)

順位	市町村名	スキー場名	利用者数		対前年度比
			20年度	21年度	
1位	飯山市	戸狩温泉	21	24	113.3
2位	佐久市	佐久スキーガーデン「パラダ」	30	34	109.9
3位	飯山市	斑尾高原	43	43	100.5
4位	富士見町	富士見パノラマ	16	16	98.8
5位	立科町	しらかば2in1	34	32	91.9
6位	白馬村	白馬岩岳	25	23	90.9
7位	大町市	サンアルピナ鹿島槍	27	24	90.7
8位	信濃町	タングラム・スキーサーカス	19	17	89.4
9位	軽井沢町	軽井沢プリンスホテル	52	45	87.9
10位	山ノ内町	北志賀高原(4スキー場)	38	33	86.9

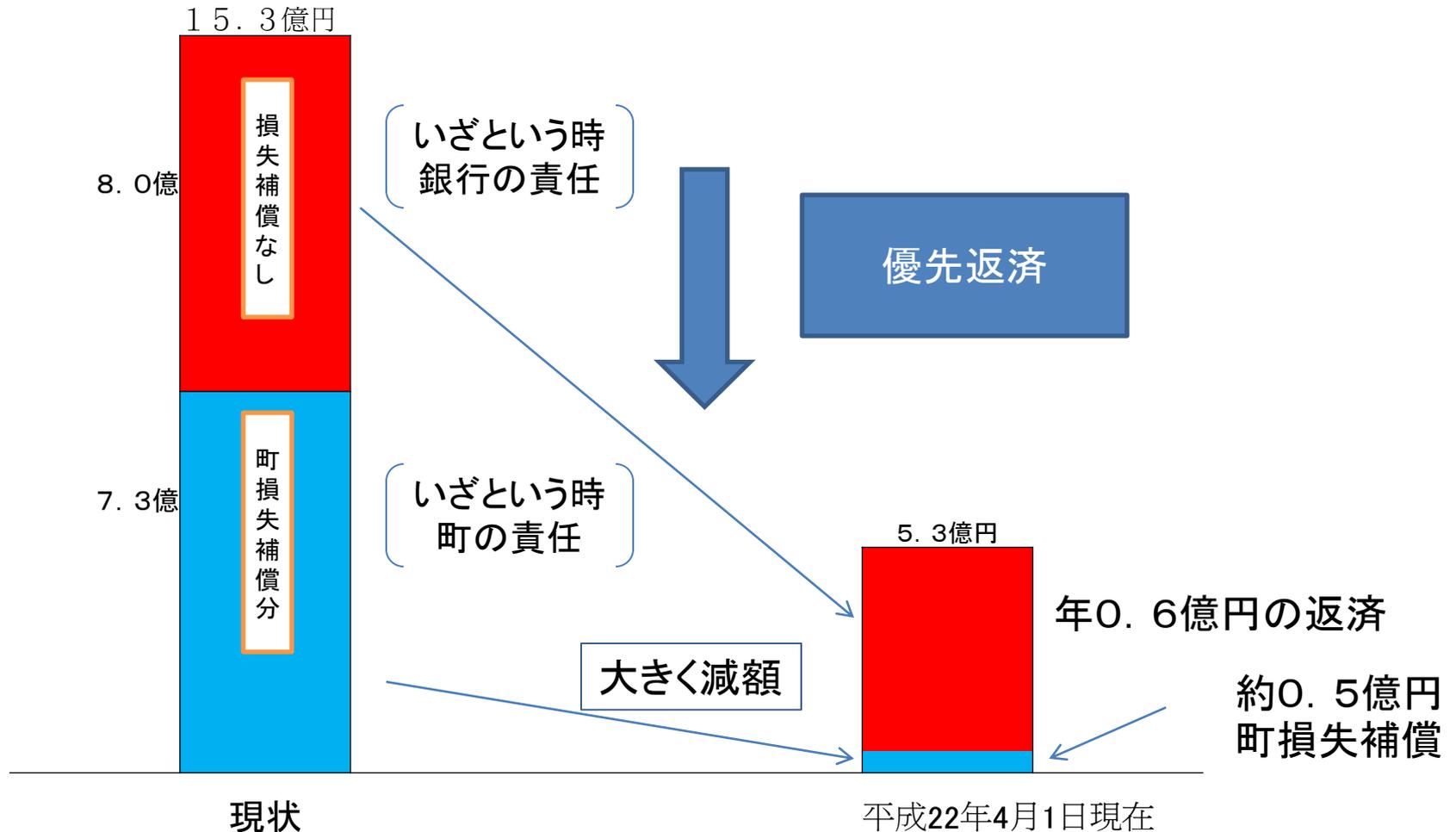
全体平均前年比84%

④ 金融機関からの協力

(1) 銀行は通常2%の利子を公社1.5%、町1.8%で融資しており、相当な協力をしていると理解してほしい。

(2) 今回の再建案は実現性が高いので全面協力
損失補償部分を優先して返還することを認めた過去何度も金融機関との話し合いが持たれています。

(3) 10億円の繰上げ返済(H22年3月実行)



⑤ 債権放棄要請について

H14年度本件につき綿密な検討が行われ
パノ라마のケースでは、不可能との結論

判断は現在も継続

⑥法的再建方法

○特定調停法

裁判所を中心に債権者（金融団等）と話し合
いで債権放棄を合意してもらい再スタートす
る。 → 金融団が拒否すれば不可。

○民事再生法

・公社の社員総会

社員 富士見町 信州諏訪農協 八十二銀行

諏訪信用金庫 富士見町商工会

で過半数の賛成を得る見こみなし。

平成14年に上下分離方式を決断した町に前記は十分に調査された上で不可能と結論付けている。

金融機関と協調(金利の大幅下げと支払期間延長)し再生をみる事を決め、着実に実行し現在に至る。

JALは何故事業を続けながら再生できるのか

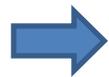
一 民事再生法と同様な方式

- ・メガバンクが債権放棄に同意した。
- ・国のJAL再生支援機構(1兆6千億円の資金)がバックとなっていて、今後のリスク拡大はない。
- ・公共性の高い航空会社として日本に必要と判断し、協力は止むを得ないと認識。

パノ라마の事業継続しながらの法的整理について

H14年度の結論は不変

- JALの様な国レベルでの公共性がない
- 既に取り決めた金融団への返済計画が着実に実施されてきた。
- パノ라마は借金を除けば黒字事業となっている。



銀行団と法的整理・債務放棄を
合意することは極めて困難

⑦ JALのように法的整理をしたらどうか。

- JALとの決定的な違いは黒字化している事です。
- 国が大きな負担をし、JALを生かしながら再建する。

破産の道を選択すればJALと違い

- 金融団(銀行)は損失補償を求めてくる。
(27.1億円)
- 入笠地区の観光資源価値が激減する。
30万人→10万人以下
- 大きなリストラ(雇用50人以上消失)

⑧ 即民営化したらどうか。

- ・現在売りに出ているスキー場が多く買い手がいない。
- ・買い叩かれて30億円程度の借金が残り、重要な観光資源が民営会社に移り、入笠地区発展計画に大きな支障が出ます。

→少なくともH32年までは民営化せず、町一体となり、富士見の重要な観光資源として育てることが望ましい。

9、今後の進め方(スケジュール)

議会臨時会 3月1日

10億円貸付について

3月定例議会 3月9日開会

新規投資分1.2億円について

10億円公社貸付は

平成22年3月23日公社貸付

平成22年3月25日公社金融機関に返済

案について、町長以下役場職員、開発公社、町内有識者と3ヶ月間にわたり真剣な検討を行ってきました。

この経済不況を乗り切り、富士見町発展の第1歩を踏み出すための、最善かつ必須の施策と考えております。

町民の皆様の深いご理解と賛同を
よろしく願います。